大野城まどかぴあ男女平等推進センター　アスカーラ
2021. 1. 1　第 261 号（毎月発行）

すてっぷ

事業レポート①

それってＤＶ!?

～新しい生活様式で見えてきたもの～

事業レポート②

レイチェル・カーソンをご存知ですか？

～環境問題と SDGs～

Contents

■ 事業レポート①　・・・ P.2
■ アスカーラ　講座・イベント案内　・・・ P.3
■ キッズルームでこんにちは　・・・ P.4
■ ご存知ですか？
「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」　・・・ P.4
■ 事業レポート②　・・・ P.5
■ 今月のアスカーラ　・・・ P.6
■ 相談室のご案内　・・・ P.6
■ ひとりごと　・・・ P.6

DV 防止キャンペーン事業

それって DV !?～新しい生活様式で見えてきたもの～

日にち：11 月 14 日（土）

講　師：甲木（かつき） 京子（きょうこ）

（久留米市男女平等政策審議会 副会長）

女性への DV が増えている・・・

コロナ禍にあるここ最近､DV が増えていると耳にする。５、６月の DV 相談件数が前年同期比で約１.６倍という内閣府の報告がある。コロナ感染拡大を防ぐために自粛生活を送る私たちのなかにはステイホームで苦しむ女性がいて、日々声があがっているのだ。人的・経済的な大打撃を災害と呼ぶならば､“災害時には DV が増える”と言われる通りのことが今まさに起こっている。データとして表れる以前から元々水面下では多くの方が苦しんでいた。このコロナ禍において支援される方々の素早い働きのおかげで、新しい相談窓口「DV 相談＋（プラス）」が設置されている。

DV相談＋（プラス）

電話 24時間受付　**0120-279-889（つなぐ はやく）**

相談をされる方のなかには、「これって DV？」と自覚がない方が多いという。「私にも悪いところがあるから」と、相談することを躊躇（ちゅうちょ）している。そして、加害者に対して「普段はいい人なんです」というよく聞く思い込み。DV には身体的･性的暴力の他に、脅しや人格を否定するような行為である精神的暴力、夫だけ贅沢をして生活費を渡さず困窮に追い込むなどの経済的暴力や行動を束縛し人との接触を制限して孤立させる社会的暴力などがある。まず、私たちがすべきことは DV を知ることだ。DV は加害者による自分の思い通りに支配しようとする行為が、力や言葉で被害者に従属関係を強いるという構造をとる。見過ごせないのはこれを問題と思わない社会にあると講師は警鐘を鳴らす。不都合なことは相手のせいにする被害者意識の強い加害者は、自身が被害者だと思っている事例もあげていた。被害者

は支配から抜け出せず、毎日生きていくのもやっとで神経が休まらず疲弊し…、被害者のほとんどは状況を変えるのは無理だと感じてしまうという。防がないといけないのは、DV が命の危険を伴う犯罪や自ら命を絶つ行動につながること、子どもの人生に多大な負の影響を与えてしまうこと。暴力を目撃したり家の中の荒れた様子を見たりするなど、子どもへの心理的影響は深刻とされている。被害者に安全な生活再建のための支援があると知ってもらうことが何よりの糸口だ。DV で悩んでいる人がいたら**「(DV 相談ナビ短縮ダイヤル）＃８００８にかけてみたら」**と声をかけるのも、私たちでも出来る支援の第一歩ではないだろうか。

（情報サポーター　M 美）

受講者の感想（アンケートより抜粋）

◇資料にそって、また、いろいろな事例にそって理解しやすい講演でした。DV 防止週間にジャストフィットしたお話で認識を深めることが出来ました。

◇『DV は支配構造』『自覚なき支配』という言葉が印象に残った。知らないこともいっぱいあった。勉強になりました。

Look

まどかぴあ３階に壁新聞掲示中！

テーマ **コロナショック！！**

コロナ禍で変わった生活や虐待・DV の増加についてまとめた壁新聞です。

情報サポーターの力作です！

お立ち寄りの際は

ぜひご覧ください♪

アスカーラ事業のご案内

新しい年が始まりました！ 今年は明るい１年になるといいですね。
アスカーラでは今年も様々な講座・イベントを行いますので
ぜひチェックしてみてください。みなさんのお越しをお待ちしております！

第４回　アスカーラ共生フォーラム

アスカーラからステップアップ
新しい明日への挑戦

２月27日（土）

出口治明によるオンライン講演と、加納ひろみ&林田スマによる生出演トーク。
新しい明日へ向かって挑戦し続ける出演者の“言葉”を感じてください。

出口　治明さん
立命館アジア太平洋大学（APU）学長
ライフネット生命創業者

加納　ひろみさん
KIGURUMI.BIZ 株式会社
代表取締役

【内　容】

- **「男女共同参画」小中学生**
  図画ポスター・標語コンクール表彰式
- **加納ひろみ&林田スマによる生出演トーク**
- **出口治明オンライン講演**
  「人生 100 年時代を楽しむ」

チケット発売中
大野城まどかぴあ 総合案内
（092-586-4000）
受付時間９時～21 時

【時間】13:00 開演／12:00 開場　15:40 終演予定
【会場】大野城まどかぴあ大ホール（１階）全席自由
【料金】500 円（当日 700 円）

同日開催

大野ジョーくん&まどかちゃん
ダンスステージ♪（予定）

時間▶10：30～11：00
会場▶大野城まどかぴあ
多目的ホール（１階）

大野城市イメージキャラクター
まどかちゃん

大野城市 PR キャラクター
大野ジョー

「男女共同参画」小中学生
図画ポスター・標語コンクール
受賞作品展示

展示期間▶ ２月４日（木）
～３月２日（火）

展示場所▶大野城まどかぴあ
ギャラリーモール(１階)

講座、イベント等のお申し込み・お問い合わせは
★男女平等推進センター アスカーラ★

〒816-0934 大野城市曙町２丁目３番１号
TEL（092）586-4030　FAX（092）586-4031
ホームページ http://www.madokapia.or.jp/
開館日時/月曜日～金曜日 ９時～19 時　土・日・祝日 ９時～17 時
休 館 日/第１・３水曜日　年末年始/12 月 28 日～１月４日

このマークのある講座・イベントは託児を利用できます。開催日の１週間前までにお申し込みください。なお、１週間前が土日祝・休館日にあたる場合は前日の平日 17 時までにお申し込みください。

・１人１回 300 円の託児利用券が必要
・満 10 ヵ月～小学校就学前まで

＜利用時間＞
10：00～15：00
＜場　　所＞
まどかぴあ3階
キッズルーム

※予約は必要ありません
※参加料は無料です
※未就学児が対象です

今月のお楽しみ情報

○ お楽しみ会
　１月のお楽しみ会はありません。

＊＊お知らせ＊＊

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、一部変更・中止があります。
＜変更＞
・キッズルームの利用時間は１時間まで
・一度に遊べる人数の制限
＜中止＞（再開時期未定）
・おひざでだっこ「おはなしのへや」
・託児サポーター“ママ・ポケット”の見守り

ご理解、ご協力のほど
よろしくお願い致します。

今月のキッズルーム

少しずつ話せるようになってお話しするのが楽しいひなたくん（1歳8カ月）。お兄ちゃん大好きです。

参考：内閣府総合情報誌
「共同参画」11月号より

令和２年度の「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」に大野城まどかぴあの館長林田スマが受賞しました。この表彰は多年にわたり、男女共同参画社会に向けた気運の醸成等に功績のあった方や、各分野において実践的な活動を積み重ね、男女共同参画社会づくりの推進に貢献してきた方などに内閣総理大臣から表彰するものです。

林田館長は、1996年に女性センター（現 男女平等推進センターアスカーラ）所長となり、女性が夢を持って暮らせる社会をつくるために尽力されました。

また、行政・団体・企業などの委員就任、大学講師、講演や執筆などの幅広い活動を通じて、自らがロールモデル（※具体的な行動や考え方の模範となる人のこと）として多くの女性に影響を与え、男女共同参画社会を実現するために大きく貢献されています。

この度の有り難い受賞は、皆さま方のお陰です。これからも元気に頑張っていきたいと思います。

大野城まどかぴあ館長
林田 スマ

大野城共生ネットワーク設立20周年記念講演会　共催事業

1月31日(日)
13:30～15:30

「ジェンダーが『私』にやってきた！
鹿児島での取組35年の悲喜交々（ひきこもごも）」

＜託児あり＞

大野城共生ネットワークは、設立20周年を迎えました。記念講演会として、鹿児島県在住のたもつゆかりさんと林田スマによる対談形式でお話を伺います。

講師：たもつ ゆかり（鹿児島県男女共同参画審議会 会長）
会場：多目的ホール（1階）　　受講料：無料

たもつ ゆかりさん

主催：大野城共生ネットワーク

大野城市男女共生講座　第４回
レイチェル・カーソンをご存知ですか？
～環境問題とＳＤＧｓ～
日にち：11 月 26 日（木）
講　師：多田 満
（国立研究開発法人国立環境研究所
生物・生態系環境研究センター シニア研究員）

コロナ禍で全国的に第 3 波が発生している中で多田先生は来場できず、オンラインによる講演となった。

環境問題は地球問題

先ず、「レイチェル･カーソンをご存知ですか？」の問いに、数人の手が上がった。レイチェル・カーソンは生物科学の範囲を定義する上で「単独で生きるものは何もない」という考え方を裏付ける、生態学（エコロジー）という新しい科学の存在を強調した（『生物科学について』1956 年）。

環境問題は人間問題

1950 年代中頃～高度成長期における激甚（げきじん）な産業公害は、1970 年代にほぼ克服。現在の環境問題は、都市生活型公害・地球環境問題であり、人間の活動（経済活動）による「大量生産」「大量流通」「大量消費」「大量廃棄」によって人の環境（大気、水、土壌、生物）に問題が発生。大気汚染（温暖化、酸性雨、PM2.5 など）、海洋汚染（油、POPs、マイクロプラスチック）、土壌汚染（ベンゼン、シアン、重金属等）による健康被害や生態系への悪影響（環境リスク）、生物種の減少（絶滅）、これらのほとんどが「化学物質問題」であり、地球規模の「問題群化」「不確実性」がその特徴である。

環境問題への対応

①科学・技術の進展による対応（科学技術レベル…省エネ・無公害等の開発）
②社会システムの変換による対応（社会レベル…環境型経済・社会への移行）
③ライフスタイルの転換による対応と文化（人間レベル…人間の欲望抑止と行動レベル）
④人間観や世界観の確立による対応と文化（人間レベル…生きる目標の自覚、思想・倫理レベル）

環境問題に対して単に技術的、プラグマティック（実利的）にアプローチするのみでなく「環境とは何か人間とはいかなる存在か、自己と他人との関係はどのようか」などの究明を踏まえて、そこから問題を倫理的に考察していく（多田満著『レイチェル・カーソンに学ぶ環境問題』）。

【多田先生と ZOOM でつないだオンライン講演】

地球環境問題の特徴

原因は人口増、都市化、工業化といった人類の生存活動にあり、それが世界規模で現れ、将来世代まで影響を与える。

①それぞれの環境問題が相互に関連している。その中で先進国や新興・開発途上国との関与の仕方が著しく異なる。それぞれの事象が複雑に絡み合って問題は多様化している。
②不確実性は避けられないが、温暖化などが明確になってからでは間に合わない。対応・対策は極めて難しい。
③ヒト以外の生物、生態系への影響は大きい。

温暖化については日本も政府レベルで取り組むという。温室効果ガスを 2050 年までに「ゼロ」を目指すと菅首相が表明している。

私たちの目指す社会

SDGs とは（持続可能な開発目標）貧困のない、持続可能な世界を次世代に受け継いでいくことを目指して国連が定めた目標（193 カ国で採択）。

SDGs の POINT3

①「つづかない」世界を「つづく」世界に「変革」するための目標
②「貧困のない」「持続可能な」世界を目指した目標
③日本を含む先進国も対象となっている目標

（情報サポーター　スピカ）

１月の男女平等推進センター

日	曜	予定
1	金	
2	土	１月１日～１月４日
3	日	休館日です
4	月	
5	火	
6	水	休館日
7	木	情報サポーター編集会議
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	啓発・事業サポーター定例会
13	水	託児サポーター定例会
14	木	いきいき健康教室①
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	休館日
21	木	いきいき健康教室②
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	生き生きと輝く女性応援講座⑤
27	水	
28	木	いきいき健康教室③
29	金	
30	土	
31	日	大野城共生ネットワーク 設立 20 周年記念講演会

※状況によりイベントの開催に変更が生じる場合があります。
最新情報は、まどかぴあホームページ等でご確認ください。

相談のご予約・お問合せは・・・
☎092－586－4035

☆大野城まどかぴあ 相談室のご案内☆

相談は全て無料です。
まずはお電話でお問い合わせください。

■総合相談■ 月～金、第２・４土曜日 ９時～17 時
※日曜・祝日と休館日はお休みです。
電話相談（随時）と面接相談（要予約）があります。

■臨床心理士による相談■
原則、面接相談のみ。相談には予約が必要です。
生き方、夫婦・親子関係、対人関係、仕事のこと、
DV の相談など、気持ちの整理をしませんか。
女性の臨床心理士が相談を受けます。
＜今月の相談日程＞
１月　５・19 日（火）12 時～15 時
１月・７・21 日（木）９時～12 時

■法律相談■ 毎月第１～４木曜日 13 時～16 時
面接相談のみ。相談には予約が必要です。
女性の弁護士が相談を受けます。

■おしごと相談■ 毎月第２水曜日 10 時～12 時
面接相談のみ。予約時に①か②をお申し出ください。
①男女不問：賃金未払いや雇用形態、セクハラ等、仕事の事なら何でも労働相談員が受けます。
②再就職を目指す子育て中などの女性：就職全般の相談を就業アドバイザーが受けます。

ひとりごと

昨年前半は思いもよらないパンデミックの世界の始まりだった。健康講座、人権問題への関心が日々深まっていった。災害時には精神的な暴力も増えてゆき、被害者を不安にさせ健康被害にあって経済的にも損失となる。このような内容の講座を拝聴した。対策としては安心できる場所を確保する。没頭できる趣味を持つ。私個人としては音楽鑑賞、楽器演奏などである。

家族が入院中ということもあって面会も限られて、いつも以上に神経が疲れる年だった。同じような境遇のご家族の方も多いようだ。コロナ禍では季節感が感じられにくく祭りやイベントの中止で、療養中の方にも刺激が少なく、気晴らしを考えてゆきたいものだ。自然とのふれあい、良いコミュニケーション、睡眠時間の確保、バランスのとれた食事などを考えて、暮らしていこうと思う。

風評などに振り回されず、心の距離が近づく温かい環境を作っていきたい。平和な世界が訪れることを願うばかりである。　（情報サポーター　SAKIKO）

＜編集＞男女平等推進センター 情報サポーター　＜発行＞大野城まどかぴあ男女平等推進センター アスカーラ
〒816-0934　福岡県大野城市曙町 2-3-1　ホームページアドレス　http://www.madokapia.or.jp/
ＴＥＬ／092（586）4030　ＦＡＸ／092（586）4031　相談専用電話／092（586）4035